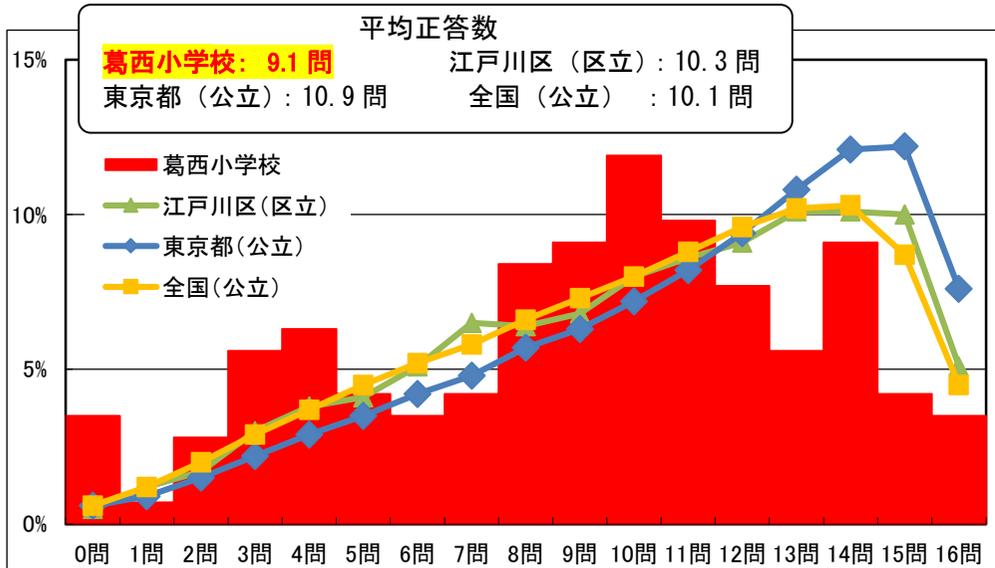


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 葛西小学校

正答数分布



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

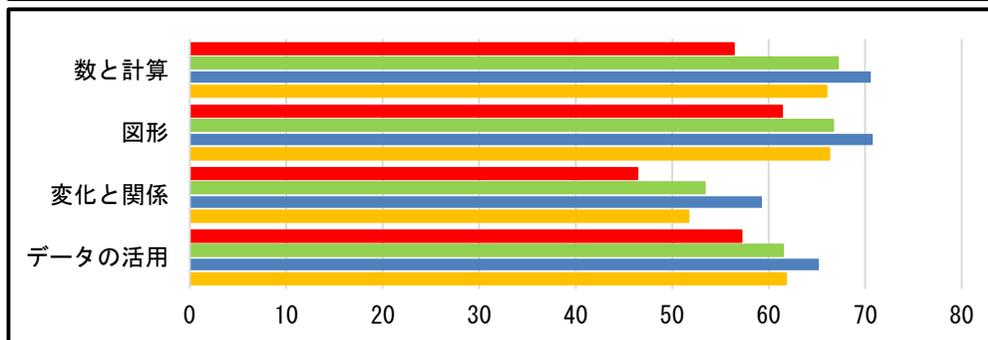
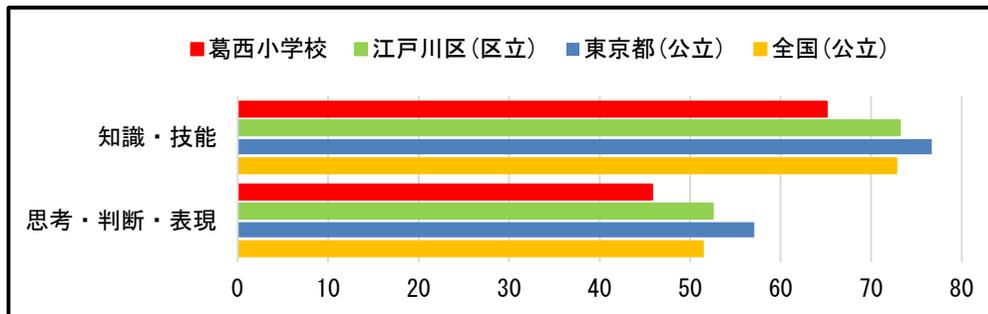
算数	上位 ←		→ 下位	
	A層 14~16問	B層 12~13問	C層 8~11問	D層 0~7問
葛西小学校	15.8	12.4	37.9	31.0
江戸川区(区立)	25.2	19.2	29.8	25.8
東京都(公立)	31.9	20.2	27.4	20.5
全国(公立)	23.5	19.8	30.7	26.0

【平均正答率の差】

葛西小学校	60%
江戸川区(区立)	64%
東京都(公立)	68%
全国(公立)	63.4%
都との差	8ポイント

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【分析結果と授業改善に向けて】

- ・算数科ではC層児童の指導を中心に、取り扱う問題を精選する必要がある。
- ・中間層児童をA層に引き上げるため、算数科では学習の個性化を図り、一単位時間に解く問題数を増やせるようにする。また、課題を終えた児童がタブレット端末を活用して発展的な内容の学習に取り組めるようにする。